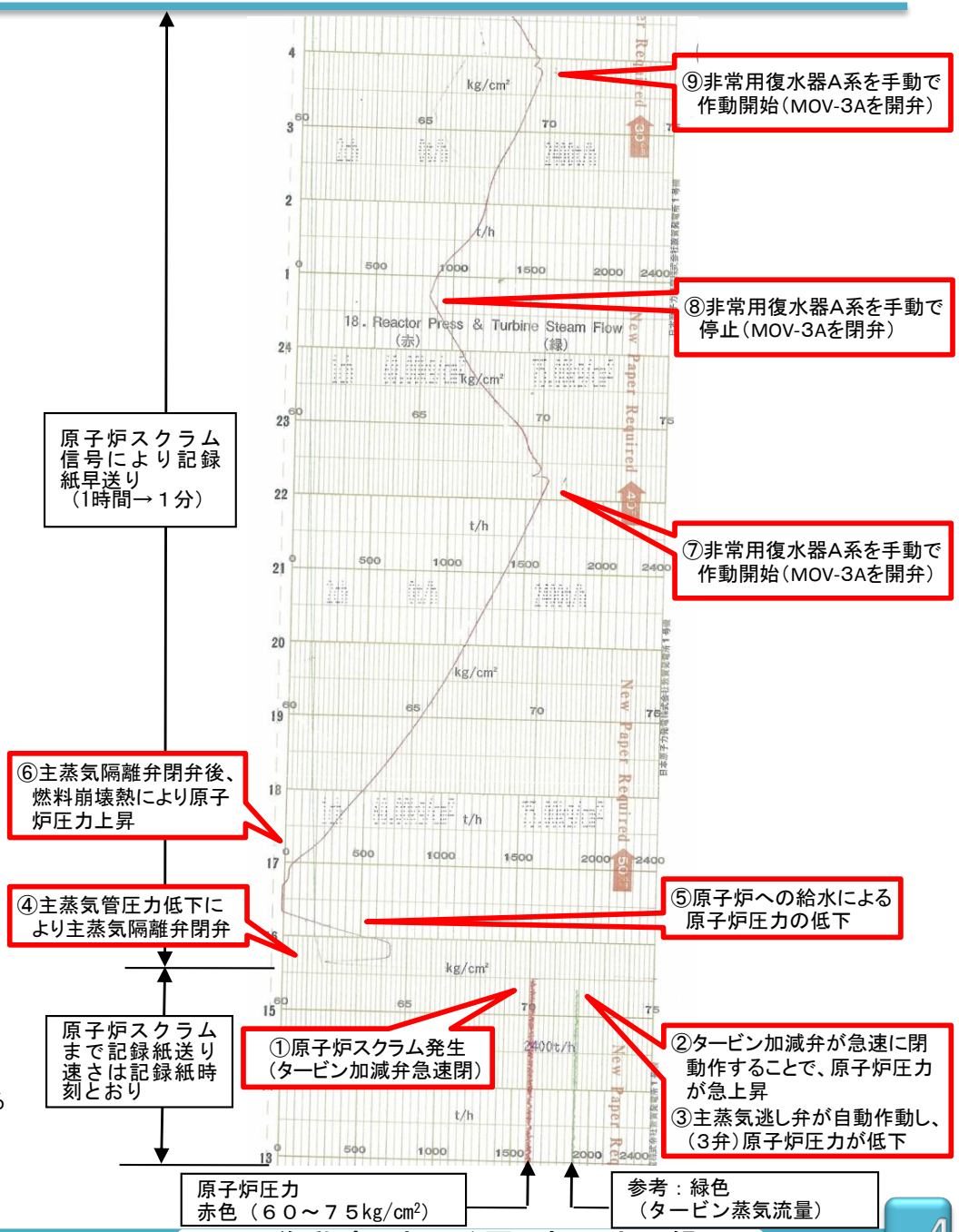
# 1．福島第一原子力発電所1号機の冷却機能喪失及び代替注水の状況
## ③敦賀発電所1号機におけるIC作動状況の例（参考）

○敦賀発電所１号機での過去１０年間の運転実績において、送電系統の影響やタービン設備の不具合の影響を受けて原子炉自動停止とMSIV閉止が発生した際、ICを手動操作により使用した事例が2件あった。

○2件の実績を見ると、原子炉圧力を6．37～6．86MPaの範囲に調整するように1系統のICの弁開閉を手動で行っており、福島第一1号機の津波襲来までの手動操作と同様であった。

○ICによる原子炉圧力調整は、MSIVの復旧までの間、非常用復水器胴側への水補給を行い、7、8時間継続されていた。

○IC胴側温度は4、5回のIC作動で沸騰状態に到達していた。




IC作動時における原子炉圧力記録

出典：11月18日日本原子力発電(株)「「敦賀発電所1号機の非常用復水器の作動実績に係る運転記録等に関する提出について（要請）」（平成23年11月11日付 平成23・11・10原院第2号）に対する報告について」に加筆